



人生の結果＝考え方×熱意×能力

校長 鶴田 和仁

「ピーツ」校庭から聞こえてくる笛。大きな応援団の太鼓の音。今、学校は、10月2日に開催される第75回秋季運動会に向けて練習の真最中です。コロナ禍で思うような活動はできませんが、運動会は、子どもたちにとって日頃の学習の成果を発表する貴重な機会です。当日は、ぜひ学校にお越しいただき、子どもたちの演技に励ましの声援をおくってください。それが、子どもたちの大きな自信につながると思います。多くの方々の御来場と御声援をよろしくお願いいたします。



さて、今年の夏に亡くなられた京セラの名誉会長である稲森和夫氏が著書で「人生の結果を導く方程式」とは、人生の結果＝考え方×熱意×能力であると語っていました。「考え方」「熱意」「能力」の三つは重要な要素ですが、「能力」が最後で「考え方」が、最初に来ていることに注目です。最初に来ている「考え方」がプラス思考であることが絶対条件だそうで、他の「熱意」や「能力」がいくら高くても「考え方」がマイナス思考だと数学と同じで全てがマイナスになるそうです。プラス思考の「考え方」に、だれにも負けない「熱意」と人並みの能力があれば、人生の結果はいくらでも大きくなるかけ算と同じだというのが稲森氏の主張です。

そこで思い出すのが、本校の「ストゴレ魂」です。

「ストゴレ魂とは『何くそ負けてたまるものか』という克己と根性の精神である。かつて郷土の先輩たちが後輩を激励するとき、また大志を抱いて島を離れるとき口にされたのがこのストゴレの魂を忘れるなという餞の言葉であった。それに応えて島の先人たちは、よく困苦に耐え、進取の気性に富み、学問を愛して努力された。そして、奄美から多くの人材を輩出したのである。 後略～」

「何くそ負けてたまるものか」という己に勝つ気持ち。この気持ちを持ち続けることが、人生にとっていかに大切か見えてくる気がします。

子どもたちは、一人一人めあてを立てて学校生活を送っています。目標達成を稲森氏の方程式を当てはめてみると「自分は、絶対にできる。」という「考え方」と「絶対に〇〇になりたい。」という熱意があれば、目標達成に近づくといえるのではないのでしょうか。

少々の失敗など恐れず、多少の失敗は、次で取り返してやるというプラス思考で様々なことに挑戦してほしいと思います。

10月の学校行事

2日(日) 第75回秋季運動会	7日(金) 身体測定・視力検査(3年)	21日(金) 芸術鑑賞
3日(月) 振替休日	8日(土) 人権学習1時間	24日(月) 委員会活動
4日(火) 身体測定・視力検査(6年)	11日(火) 身体測定・視力検査(2年)	25日(火) 修学旅行(6年)
5日(水) 身体計測・視力検査(5年)	陸上記録会準備	～26日(水)
6日(木) 身体測定・視力検査(4年)	12日(水) 町陸上記録会	27日(木) 休養措置日(6年)
	14日(金) 生活科・社会科見学	31日(月) 科学実験教室
	1年～4年	5, 6年(午前中)



保護者アンケートの結果(1学期)

4…十分達成されている, よくあてはまる 3…ほぼ達成されている, あてはまる
 2…あまり達成されていない, あまりあてはまらない 1…ほとんど達成されていない, ほとんどあてはまらない

<学校教育活動に対するアンケート>

平均

1	学校は保護者や地域の願いに応えた教育活動を展開していますか。	3. 2
2	学校は学校・家庭・地域の実態を踏まえた特色ある教育活動を行っていますか。	3. 1
3	学校は子ども達がわかる授業, できる授業を行っていますか。	3. 2
4	学校は子どもの気持ちを共感的に理解したり, 受容的な態度で接したりしていますか。	3. 2
5	学校は保健指導や安全指導を徹底していますか。	3. 2
6	学校は特別支援教育の実践や, 保護者・地域への啓発活動を行っていますか。	3. 1
7	学校は思いやりや, 差別・いじめを許さない人権尊重の心を育てていますか。	3. 1
8	学校は地域の環境や人材を活用した指導を行っていますか。	3. 1
9	学校は環境整備に努めていますか。	3. 3
10	学校だよりや週報, ホームページ等による広報活動は充実していますか。	3. 2

<児童・保護者についてのアンケート>

11	子どもの発表態度や聞く態度はしっかりしていますか	3. 1
12	子どもは学習した内容を理解していますか。	3. 0
13	子どもは周りの人によくあいさつしたり, 正しい言葉遣いをしたりしていますか。	3. 0
14	学級活動, 児童会活動, クラブ活動, 学校行事を通して, 子どもの自主性や実践力を育てていますか。	3. 2
15	子どもは進んで運動していますか。	3. 2
16	子どもは早ね・早起きをしていますか。	3. 8
17	子どもは朝食をしっかりとっていますか。	3. 4
18	子どもはいじめや差別のない学校生活を送っていますか。	3. 5
19	学級PTAなどの話し合いや専門部活動に参加していますか。	3. 3

保護者の皆様方から寄せられた主な意見と今後の対応については下記のとおりです。

- 不要なメールが多い。ペーパーもあるのだから、メールについては、真に必要な内容に絞り込むなど、精査をして発出してもらいたい。→ 保護者の方の中には、「お子さんがお手紙など出さないで、大変助かります。」「細かく文書など出していただき、助かります。」などの感想をたくさんいただいています。必要がないメールについては破棄させていただきます。
- 毎日あついですね。学校で水筒に冷たいお茶を入れて頂き大変助かっています。いつもありがとうございます。
- 健康な子どもたちのマスク着用の弊害を認識していただきたいです。保護者、子どもたちの声を率先して聞いていただきたいです。
- コロナ第7波、瀬戸内町の現状、保護者の意向（中には、うちの子にはマスクを外さないようにという家庭もあります。）を鑑み、保護者判断で登下校の際は外すようにさせていただきます。学校としては、登下校や体育の際のマスク着用は強制しません。
- 先日、附属幼稚園に子供を送りに行った時のこと、プールの授業を行っていた先生が、幼稚園まで聞こえる大きなどすのきいた声で怒鳴っていました。その場にいた他の保護者の方もびっくりしてました。児童に対してあの言い方はないんじゃないかと思いました。外であの様子なら、人目の無い閉鎖的な教室ではもっとすごいのではと思ってしまいました。子供はもちろん先生方の言葉遣いの指導もお願いします。
- 管理職の方から、きちんと指導します。今後、このようなことがないように、十分配慮していきます。
- 交通マナーを守っていない児童が多いように感じます。運転中、ひやっとすることがたくさんありました。学校での指導だけではなく、家庭での指導も大事かとは思いますが、命に関わることなので厳しい指導をお願いしたいです。→ 家庭との連携を深めながら、交通安全指導の充実に努めてまいります。
- 空き缶回収は家庭ゴミでも助かるので、良い取り組みだと思います！